

2018年10月15日 PDCA サイクルについて

※一言要約： PDCA サイクルこそ、回さなければ意味がない。

「PDCA」とは、「**PDCA サイクル**」とも言われ、W・エドワーズ・デミング博士が提唱した概念で、生産管理や品質管理の現場で行うべき事象を表した英語の頭文字で、

「Plan: 計画」

「Do: 実行」

「Check: 評価」

「Action: 改善」

の4段階を指します。

何か業務を開始する前にまず計画を十分に練ることや実際に行った作業を常に見直すことが重要だという意味が込められています。

PDCAには「業務改善」の効果があります。日々PDCAを回すことで同じミスを繰り返すことが無くなり、業務はどんどん改善されるので効率良く業務を行えるようになります。PDCAは1度回したのでは効果は出ません。**何度も繰り返しおこなうこと(サイクルを回す)**で徐々に「業務の改善」が行われていき効果が出てきます。日々の積み重ねが最終的に大きな成果につながっていきます。

世の中には、「考えている暇があったら即実行」、「実行しながら考えればいい」などと言われます。しかし、自分で何も考えずに実行しても、指示されただけで実行しても、その結果の分析・評価に繋がりません。やはり、事前に自分で計画を実行し、評価、改善をして効果を確認することが重要です。

今の時代は、「下手な鉄砲も数撃てば当たる」のことわざのような非効率的なことをやっている手間・暇はありません。

しかし、あまり高い計画を立ててしまうと実行できない場合や、実行できたとしても「最初から無理がある」ということで評価ができない場合があります。このようなことにならないように、最初はハードルを低く設定して、できることから始めることも考えてみてください。